



ユーザーズマニュアル

USB 接続 3.5 インチシリアル ATA 対応 外付け HDD キット

PL-35STU

プラネックスコミュニケーションズ株式会社

Version: PL-35STU_QIG-A_V1

はじめに

●パッケージに次の付属品が含まれていることを確認してください。

- ユーザーズ・マニュアル (本紙) USB ケーブル
- PL-35STU (本製品) HDD 取付用ねじ × 4
- スタンド 安全に関するご注意 / 保証書
- AC アダプタ

※パッケージ内容に破損または欠品があるときは、
販売店または弊社テクニカルサポートまでご連絡ください。

●別途ご用意ください。

- フォーマット可能な内蔵用 SATA 3.5 インチハードディスク (HDD)
- ブラストライバー
- 利用可能な USB ポートのあるパソコン

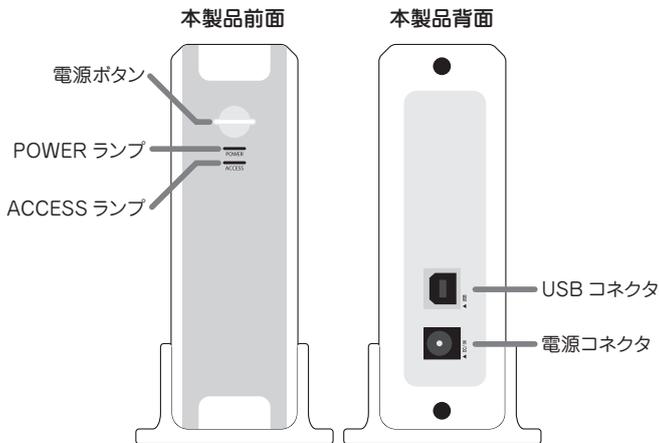
❗ **最新の情報は、弊社ホームページ (<http://www.planex.co.jp/>)
をご参照ください。**

ハードディスク搭載モデルをお買い上げのお客様へ

ハードディスク搭載モデルには、出荷時にハードディスクが装着されており
ますので、本ユーザーズ・マニュアルの「**STEP 7** ハードディスクを取り付ける」
の手順は不要です。「**STEP 2** 接続する」から行ってください。

※ハードディスクを搭載していないモデル、または搭載モデルでハードディスクの入
れ替えを行うときは、すべての手順が必要となります。

各部の名称とはたらき



ランプの動作と状態は次のとおりです。

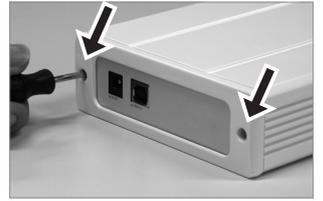
ランプ	動作	状態
POWER	点灯	電源オン
	消灯	電源オフ
ACCESS	点灯または点滅	HDD への読み書き中
	消灯	HDD への読み書きなし

STEP
1

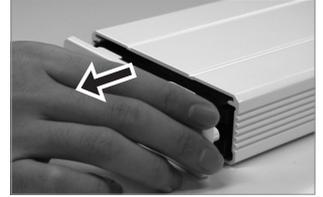
ハードディスクを取り付ける

本製品に内蔵用ハードディスク (HDD) を取り付けます。
本製品の電源はまだ入れないでください。

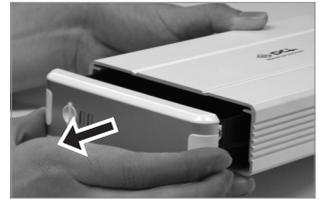
1 本製品をテーブル等の平らなところ
に置き、背面パネルのねじを外しま
す (2カ所)。



2 本製品の背面パネルを取り外しま
す。



3 本製品の胴体部分と前面のパネルを
持ち、前面のパネルを引いてトレイ
を取り出します。

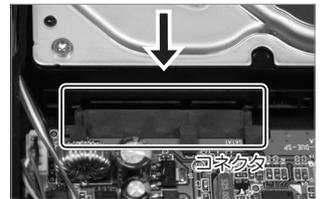


4 取り出したトレイに、ハードディス
クをはめこみます。

※ハードディスクのコネクタ側が、ト
レイ内の基板側になるようにはめ
込んでください。ハードディスク
の端子部や基板には素手で触れ
ないようにご注意ください。



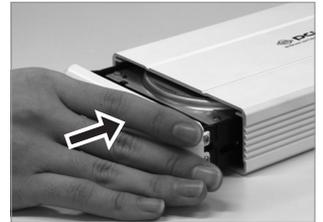
5 ハードディスクをスライドさせて、
ハードディスクとトレイ内のコネク
タを接続します。
※コネクタの奥まで確実に接続し
てください。



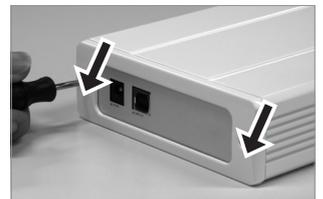
6 付属のねじを使って、トレイにハー
ドディスクをねじ止めします (4カ所)。



7 ハードディスクを固定したトレイを、
本製品の胴体部分に挿し込みます。
※上下に注意して挿し込んでくだ
さい。胴体部分内部にガイドがあ
るほうが上になります。



8 背面パネルを取り付け、ねじで固定
します (2カ所)。



以上でハードディスクの取り付けの完了です。

STEP 2 接続する

本製品とパソコンを接続する手順を説明します。

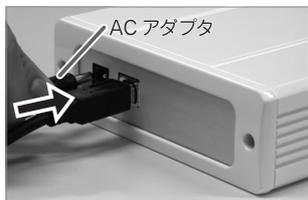
▲ご注意!

- ・本製品をパソコンに接続するときは、必ず本項の手順で接続してください。異なる手順で接続すると、ハードディスクやハードディスク内のデータが破損することがあります。
- ・本製品は、電源をオンにする前に安定した場所に設置してください。電源がオンのときに振動を与えたり移動させたりすると、ハードディスクやハードディスク内のデータが破損することがあります。
- ・本製品は、パソコン本体に標準装備された USB ポートに接続してください。

- ① 付属 USB ケーブルを、本製品背面の USB コネクタに接続します。



- ② 付属 AC アダプタを、本製品背面の電源コネクタに接続します。



- ③ 付属 USB コネクタの反対側を、パソコンの USB ポートに接続します。



- ④ 本製品前面の電源ボタンを押します。

本製品の「POWER」ランプが点灯し、本製品の電源がオンになります。パソコンに本製品が認識され、OS 標準のドライバがインストールされます。



以上で接続の完了です。

STEP 3 ハードディスクをフォーマットする

ハードディスクは、お使いのパソコンで読み書きができるように「フォーマット」という初期化作業をする必要があります。フォーマットされていないハードディスクを本製品に取り付けているときは、フォーマット作業をしてください。フォーマットの手法は、お使いのパソコンの OS によって異なります。お使いの OS をご確認の上、各 OS での手順を参照してフォーマットを行ってください。本項では参考として各 OS ごとの手順例を説明します。

▲ご注意!

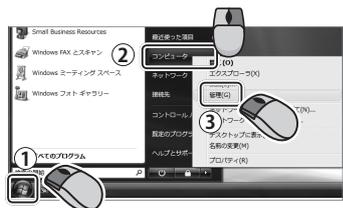
- ・フォーマットを行うと、ハードディスク内のすべてのデータが消去されます。フォーマットを行うハードディスクを選ぶときは、よく確認してください。またフォーマットを行うときは、本製品以外の外付けハードディスクや USB メモリー、メモリーカード等を、パソコンから取り外しておくことをおすすめします。
- ・フォーマット済みのハードディスクを本製品に取り付けたときは、フォーマットを行う必要はありません。
- ・ハードディスクのフォーマットには数分～数 10 分かかります (ハードディスクの容量によって異なります)。その間は本製品およびお使いのパソコンの電源を切ったり、USB ケーブルや電源ケーブルを抜く等は絶対にしないでください。

Windows Vista/XP/2000 のとき

ハードディスク全体を 1 つのドライブとして使用する場合を例に、フォーマット手順を説明します。Windows Vista の画面を例に説明していますが、Windows XP/2000 でも手順は同じです。

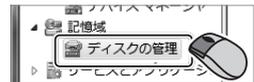
※ Windows Vista で「ユーザーアカウント制御」が表示されたときは、[続行] をクリックして手順を進めてください。

- ① ① [スタート] をクリックします。
② 「コンピュータ」(Windows XP/2000 のときは「マイコンピュータ」) を右クリックします。
③ 「管理」をクリックします。



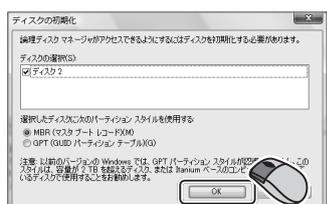
- ② 「ディスクの管理」をクリックします。

「ディスクの初期化」画面が表示されます。



- ③ [OK] を (Windows XP/2000 のときは [次へ] → [完了] の順に) クリックします。

「ディスクの初期化」画面が閉じます。



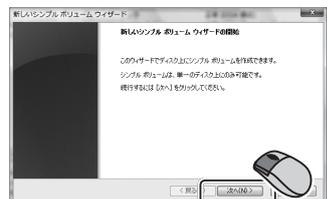
- ④ ① 本製品に取り付けたハードディスク(「未割り当て」と表示されています) を右クリックします。
② 「新しいシンプルボリューム」(Windows XP / 2000 のときは「新しいパーティション」) をクリックします。

「新しいシンプルボリュームウィザード」画面 (Windows XP/2000 のときは「新しいパーティションウィザード」画面) が表示されます。



- ⑤ [次へ] をクリックします。

「ボリュームサイズの指定」が表示されます。
※ Windows XP/2000 で「パーティションの種類を選択」が表示されたときは、[次へ] をクリックします。



- ⑥ [次へ] をクリックします。

「ドライブ文字またはバスの割り当て」が表示されます。



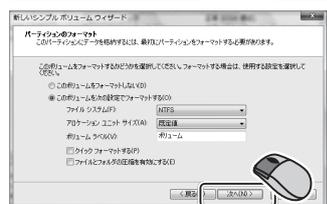
- ⑦ [次へ] をクリックします。

「パーティションのフォーマット」が表示されます。



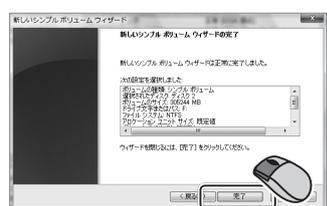
- ⑧ [次へ] をクリックします。

「新しいシンプルボリュームウィザードの完了」(Windows XP/2000 のときは「新しいパーティションウィザードの完了」) が表示されます。



- ⑨ [完了] をクリックします。

ウィザード画面が閉じ、フォーマットが開始されます。



10 ディスクの状態が、「フォーマット中」から「正常」に変わります。

フォーマットが完了しました。「コンピュータの管理」画面を開きます。



以上で本製品に取り付けたハードディスクが使用可能になります。

Windows Me のとき

Windows Meでは、「MS-DOS プロンプト」の「FDISK」コマンド (FDISK.EXE) を実行して領域の確保を行ってからフォーマットを行います。

「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「MS-DOS プロンプト」をクリックし、キーボードで「fdisk」と入力して<Enter>キーを押すとメニューが表示されますので、画面の表示に従って操作して領域を確保します。その後、「マイコンピュータ」→ハードディスクを右クリック→「フォーマット」をクリックし、画面の表示に従って操作してフォーマットします。

※より詳細な情報が、弊社ホームページのFAQに掲載されています。

Mac OS X のとき

ハードディスク全体を1つのドライブとして使用する場合を例に、フォーマット手順を説明します。Mac OS X 10.5の画面を例に説明しますが、Mac OS X 10.4/10.3でも手順は同じです。

1 本製品をパソコンに接続してしばらくすると、「ディスクのセット」画面が表示されますので、**[初期化]**をクリックします。

※「ディスクのセット」画面が表示されないときは、Finderで「移動」→「ユーティリティ」の順にクリックして、「ディスクユーティリティ」をダブルクリックします。



「ディスクユーティリティ」が表示されます。

2 ① 画面左側から本製品をクリックして選びます。

※ (オレンジ色のアイコンと、本製品に取り付けたハードディスクの容量、ハードディスクの型番が表示されています)

② 「消去」をクリックします。



3 「消去」をクリックします。

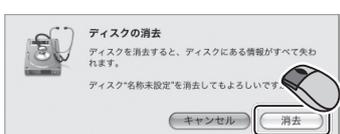
※ 「ボリュームフォーマット」や「名前」を変更するときは、設定/入力してから「消去」をクリックします。



「ディスクの消去」が表示されます。

4 「消去」をクリックします。

フォーマットが開始されます。



5 フォーマットが完了すると、デスクトップにハードディスクのアイコンが表示されます。

フォーマットが完了しました。「ディスクユーティリティ」を閉じます。



以上で本製品に取り付けたハードディスクが使用可能になります。

ワンポイント

Mac OS X 10.5では、ハードディスクのフォーマットが完了したときに「Time Machineでバックアップを作成するために使用しますか?」画面が表示されることがあります。この画面から設定することで、本製品をTime Machine機能で使用することができます。詳しくは、Mac OS X 10.5のヘルプを参照してください。

STEP 4 本製品を取り外す

本製品をパソコンから取り外したり、電源を切ったりするときの手順を説明します。

- ・パソコンの電源をオフにしてから行うとき
そのまま取り外したり、電源を切ることができます。
- ・パソコンの電源をオンにしたままで行うとき
取り外し操作が必要です。操作の手順は、お使いのパソコンのOSによって異なります。以下では各OSごとの手順を説明します。

▲ ご注意!

- ・パソコンの電源をオンにしたまま本製品を取り外すときは、必ず本項の手順で取り外してください。異なる手順で取り外すと、ハードディスクやハードディスク内のデータが破損することがあります。

Windows Vista/XP/2000/Me のとき

Windows Vistaの画面を例に説明します。Windows XP/2000/Meでも手順は同じです。

1 ① タスクトレイの「ハードウェアの安全な取り外し」アイコンをクリックします。

② 「USB大容量記憶装置 - ドライブ (?) を安全に取り外します」をクリックします。

※ 「?」にはドライブ文字 (ドライブレター) が表示されます。お使いのパソコンの環境によって異なります。



「ハードウェアの取り外し」画面が表示されます。

2 [OK] をクリックします。



3 本製品前面の電源ボタンを押して電源をオフにします。

4 USBケーブルを取り外します。

以上で本製品の取り外しは完了です。

Mac OS X のとき

Mac OS X 10.5の画面を例に説明します。Mac OS X 10.4/10.3でも手順は同じです。

1 デスクトップに表示されている本製品のアイコンをクリックして選択します。

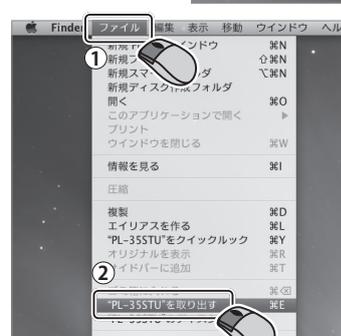


2 ① Finderで「ファイル」をクリックします。

② 「"?????"を取り出す」をクリックします。

※ 「"?????"」にはディスク名が表示されます。

デスクトップから本製品のアイコン表示が消えます。



3 本製品前面の電源ボタンを押して電源をオフにします。

4 USBケーブルを取り外します。

以上で本製品の取り外しは完了です。

